

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



カンファレンスコール

2014年度 第1四半期決算（2014年4月1日～2014年6月30日）

第一三共株式会社

説明者： 代表取締役副社長 管理本部長 坂井 学

開催日時： 2014年7月31日(木) 15:00～16:00

第1四半期 連結業績の概要

連結業績

単位：億円

	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	増減
売上収益	2,526	2,544	+0.7% +18
売上原価	876	859	-17
研究開発費	481	432	-49
販売費・一般管理費	1,017	960	-58
(資産関連費/ 事業再編損)	(137)	(33)	(-104)
営業利益	152	294	+93.9% +142
税引前利益	175	279	+104
当期利益 (親会社帰属)	150	200	+33.0% +50

為替 レート	USD/円	98.76	102.16
	EUR/円	128.96	140.06
	INR/円	1.71	1.72

第一三共グループ

単位：億円

	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	増減	年度計画*
売上収益	2,104	2,137	+33	9,200
売上原価	659	646	-13	2,850
研究開発費	458	414	-44	1,820
販売費・一般管理費	841	756	-85	3,330
(資産関連費/ 事業再編損)	(120)	(21)	(-99)	-
営業利益	146	321	+175	1,200
税引前利益	159	320	+161	1,200
当期利益 (親会社帰属)	139	211	+72	780

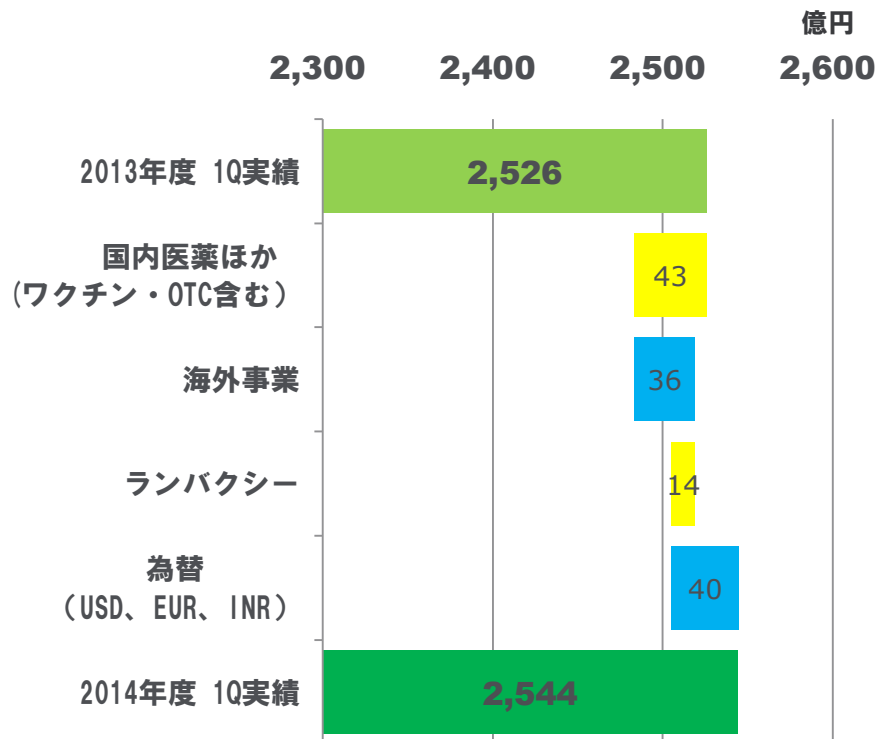
*ランバクシーグループを含まない「第一三共グループ」(継続事業)の数字のみで公表しております。

第1四半期 売上収益増減

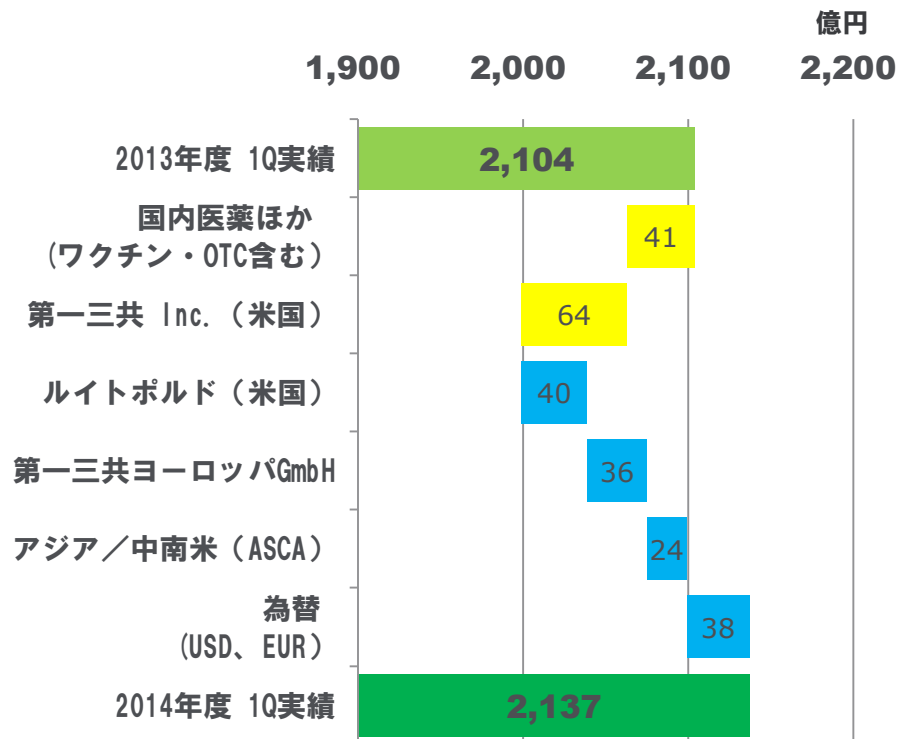
増収要因

減収要因

連結業績



第一三共グループ



国内医薬ほか (ワクチン・OTC含む) -43

増収: ネキシウム +43, メマリー +13, オルメテック/レザルタス +23

減収: ロキソニン -27, メバロチン -10, ワクチン事業 -35, リバロ -19(販売提携元へ返還)

海外事業 +36

・第一三共 Inc. -64, ルイトボルド +40, 第一三共ヨーロッパ +36, ASCA +24 (為替影響含む)

為替の影響額 +40

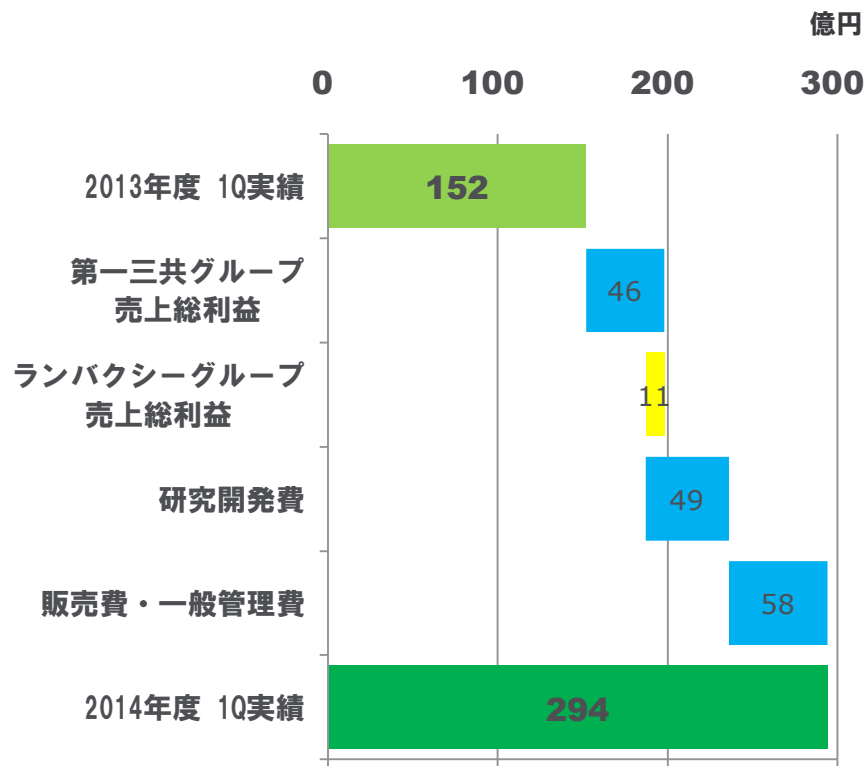
USD: +19, EUR: +19, INR: +2

第1四半期 営業利益増減

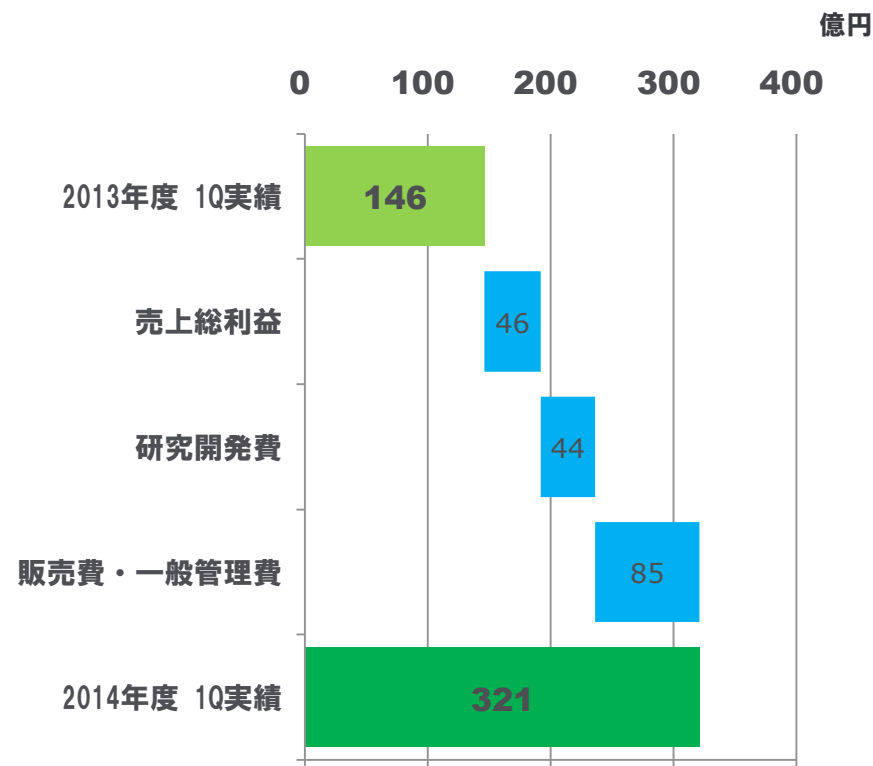
増益要因

減益要因

連結業績



第一三共グループ



売上総利益 +35

・第一三共グループ +46 (原価率: 31.3%→30.2%)

研究開発費 -49 (USD、EURおよびINRの為替影響 約+7)

・第一三共グループ -44, ランバクシーグループ -6

販売費・一般管理費 -58 (USD、EURおよびINRの為替影響 約+17)

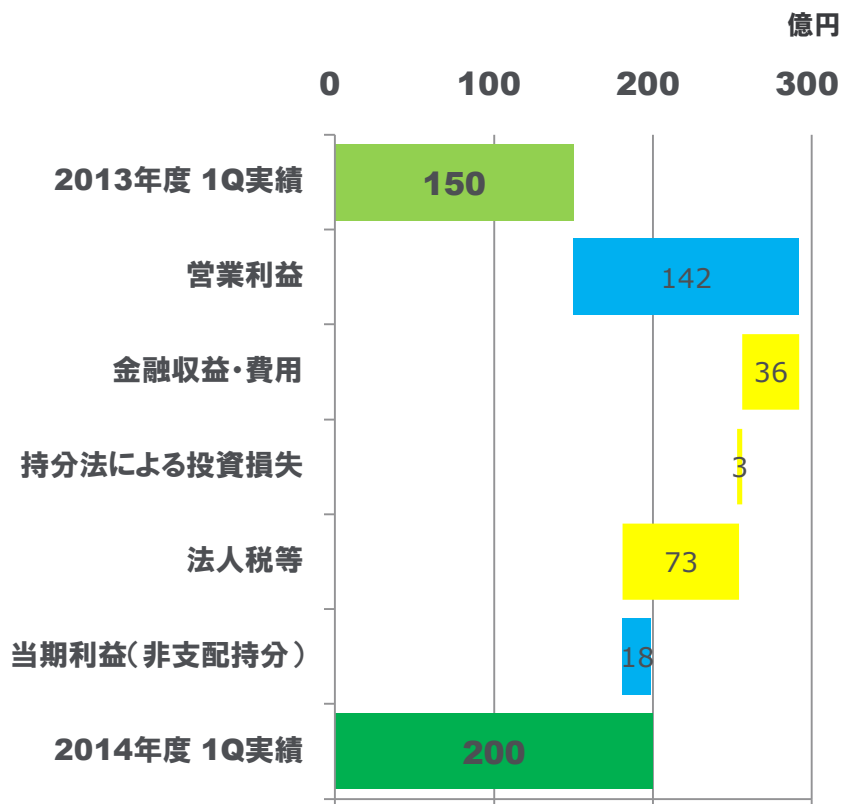
・第一三共グループ -85(前期は第一三共ヨーロッパにおける事業再編損を計上), ランバクシーグループ +27

第1四半期 当期利益(親会社帰属)増減

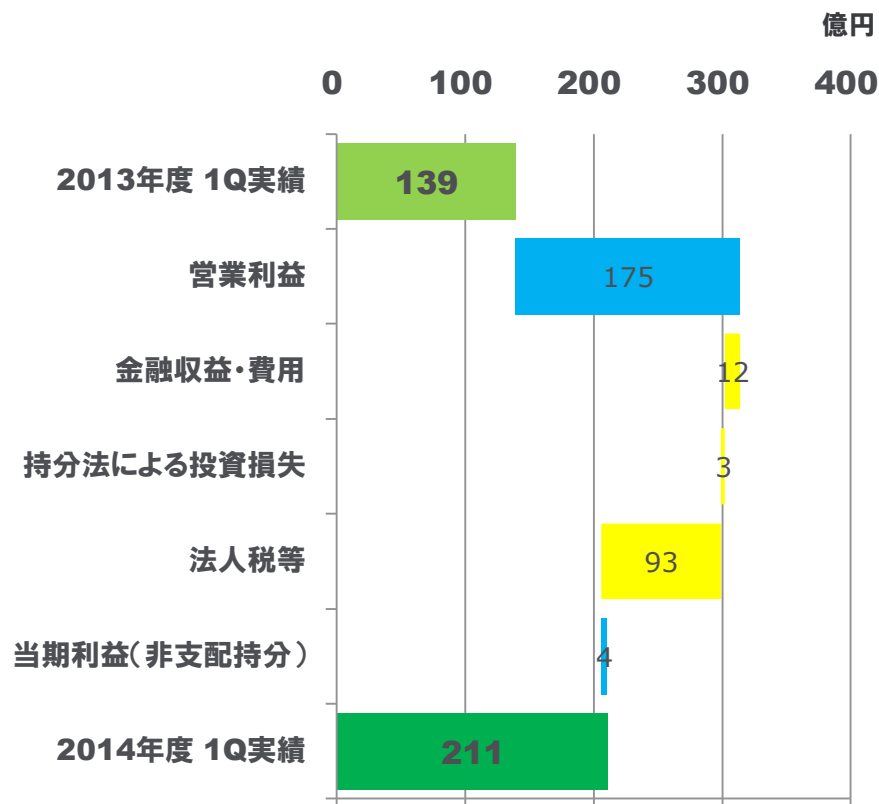
増益要因

減益要因

連結業績



第一三共グループ



金融収益・費用 -36

・第一三共グループ -12, ランバクシーグループ -24

法人税等 +73

・第一三共グループ +93 (税引前利益の増及び前期はU3ファーマからの資本配当に伴う税金費用減), ランバクシーグループ -14

国内主要製品 売上収益推移

単位: 億円

		2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	増減	年度計画	年度計画 進捗率
オルメテック	高血圧症治療剤	166	187	+21	790	24%
ネキシウム	抗潰瘍剤 (プロトンポンプ阻害剤)	109	153	+43	670	23%
ロキソニン	消炎鎮痛剤	149	122	-27	520	24%
メマリー	アルツハイマー型 認知症治療剤	66	79	+13	500	16%
クラビット	合成抗菌剤	76	69	-8	290	24%
レザルタス	高血圧症治療剤	43	45	+2	220	21%
アーチスト	高血圧症治療剤	54	48	-6	210	23%
メバロチン	高コレステロール血症 治療剤	52	42	-10	170	24%
オムニパーク	造影剤	47	42	-5	150	28%
プラリア	骨粗鬆症治療剤	4	13	+9	120	11%
ランマーク	癌骨転移治療剤	16	21	+5	100	21%

主要ビジネスユニット 売上収益推移

単位: 億円

	2013年度 第1四半期	2014年度 第1四半期	増減	年度計画	年度計画 進捗率
日本カンパニー+ワクチン事業	1,094	1,080	-14	5,080	21%
第一三共ヘルスケア	98	94	-4	480	20%
第一三共 Inc.	466	416	-50	1,640	25%
オルメサルタン	307	257	-50	1,050	24%
ウェルコール	114	113	-1	410	28%
エフィエント（共同販促収入）	40	42	+2	-	-
ルイトポルド	81	125	+44	500	25%
ヴェノファー	49	72	+23	190	38%
インジェクタファー	-	15	+15	100	15%
第一三共ヨーロツパGmbH	190	245	+55	810	30%
オルメサルタン	144	197	+54	630	31%
エフィエント（共同販促収入）	12	12	+0	-	-
アジア/中南米(ASCA)	127	151	+24	590	26%
ランバクシーグループ	423	411	-12	-	-

エドキサバンのタイムライン

目標適応症	2014年度		2015年度 ~
	4-9月	10-3月	
心房細動に伴う脳卒中 および全身性塞栓症予防 	審査中	承認・上市 日米欧	上市 欧州・ASCA
DVT*/PE**患者の静脈血栓 塞栓症の治療および再発抑制 	審査中	承認・上市 日米欧	上市 欧州・ASCA

承認申請

日本
2013.12
欧米
2014.1

*DVT : Deep Vein Thrombosis (深部静脈血栓症)

**PE : Pulmonary Embolism (肺塞栓症)

ASCA : Asia, South and Central America

主要研究開発パイプライン

(2014年7月現在)

領域	フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3	承認申請・承認
循環代謝	■ DS-7309 (糖尿病/グルコキナーゼ活性化剤) ■ DS-1040 (急性期虚血性脳血管障害/TAFIa阻害剤)	■ CS-3150 (日) (高血圧症・糖尿病性腎症/MR拮抗薬) ■ DS-8500 (糖尿病/GPR119作動薬)	■ プラスグレル(日) (CS-747 / 虚血性脳血管障害 / 抗血小板剤) ■ プラスグレル(米) (CS-747 / 鎌状赤血球 / 抗血小板剤)	■ エドキサバン(日米欧) (DU-176b / AF / 経口FXa阻害剤) ■ エドキサバン(日米欧) (DU-176b / VTE / 経口FXa阻害剤)
癌	■ U3-1565 (米日) (抗HB-EGF抗体) ■ DS-7423 (米日) (PI3K/mTOR阻害剤) ■ DS-3078 (米欧) (mTOR阻害剤) ■ DS-3032 (米) (MDM2阻害剤) ■ PLX7486(米) (Fms/Trk阻害剤) ■ DS-8895(日) (抗EPHA2抗体) ■ DS-8273(米) (抗DR5抗体) ■ PLX8394(米) (BRAF阻害剤)	■ Patritumab (米欧) (U3-1287 / 抗HER3抗体) ■ Vemurafenib (米/欧) (PLX4032/BRAF阻害剤) ■ PLX3397 (米) (Fms/Kit/Flt3-ITD阻害剤)	■ Tivantinib (米欧) (ARQ 197 / 肝細胞癌 / Met 阻害剤) ■ デノスマブ(日) (AMG 162 / 乳癌補助療法 / 抗RANKL抗体) ■ ニモツズマブ (日) (DE-766 / 胃癌 / 抗EGFR抗体)	
その他	■ PLX5622 (関節リウマチ/FMSキナーゼ阻害剤) ■ DS-1093 (腎性貧血/HIF-PH阻害剤) ■ DS-3801 (慢性便秘/GPR 38アゴニスト) ■ DS-1971 (慢性疼痛)	■ Mirogabalin (グローバル) (DS-5565 / 慢性疼痛/$\alpha 2\delta$リガンド) ■ SUN13837 (米欧) (脊髄損傷/bFGF様細胞分化誘導体) ■ ラニナミビル (米/欧) (CS-8958 / 抗インフルエンザ / ビオタと導出活動中) ■ Ioforninol(日) (GE-145 / X線造影剤/血管撮影)	■ レボフロキサシン (日) (DR-3355 / 感染症 / ニューキノロン系抗菌剤) ■ デノスマブ (日) (AMG 162 / 関節リウマチ / 抗RANKL抗体) ■ ヒドロモルフォン (DS-7113 / 癌性疼痛 / μオピオイド受容体作動薬)	

下線は2013年決算発表時(2014年5月)以降のステージアップ品を示す

本資料に関するお問い合わせ先

**第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部**

TEL: 03-6225-1126（報道関係者の皆様）

03-6225-1125（株式市場関係者の皆様）

当社が開示する業績予想、将来予測に関する情報、また研究開発に関する情報等につきましては、将来を見込んだ見解として、開示時点で入手可能な情報に基いた当社の想定を示しております。従いまして、開示した情報は、一定のリスクや不確実性を含んでいること、実際の業績は、当社の見解と異なる可能性があることを、ご留意願います。